

利賀っ子だより



R4. 10. 18

○ 学習発表会「金剛祭」に向けて 3

今週の土曜日に金剛祭が迫ってきました。

テーマ看板が設置されたり、小中合同のプログラムの練習が始まったりと、準備や練習も大詰めを迎えています。

子供たちのアイデアを取り入れてよりよいステージ発表を創り上げていくことは、小学校も中学校も同じですが、小学校の場合は、練習時間は担当の教員が主になって進めています。ここが小学生と中学生の大きな違いだと思います。小中合同で行う「セレモニー」の練習は、中学生の実行委員が中心になって進めていました。

どこをどのようにするとよりよくなるのかを見極め、「～してみよう」と提案し、試してみた結果からどうするかを決定していくという中学生の姿を見ることは、小学生にとって「こんな中学生になりたい」という思いを抱く絶好のチャンスだと言えます。身近なモデルを目の当たりに見る機会がふんだんにあることは、小学校と中学校と合同で開催することのよさだと思います。



【「足音が聞こえなくなったら、前を向く」方法でやってみましょう】

【民謡予行 ～女子～】



【民謡予行 ～男子～】



地域づくり協議会の事務局の方が、金剛祭の会場となる体育館の玄関の掃除をしたり、スリッパを確認したりしてくださっていました。

いろいろな方からありがたいお心遣いをいただいていることを子供たちに知らせることで、自分たちへの想いを感じ、地域で暮らす一員として役割を果たすことへの自覚をさらにもたせることができるのではないかと思います。

お忙しい中、ありがとうございます。

(高田 公美)

